



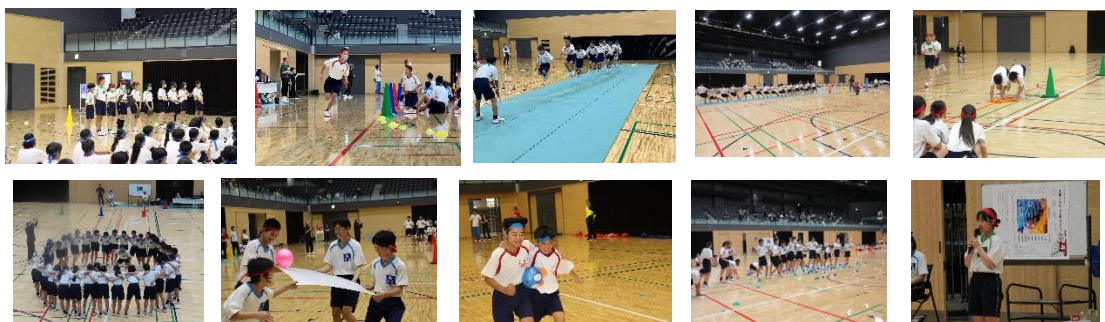
第2回スポーツフェスティバルを行いました！

5月15日（水）、大牟田市総合体育館（おおむたアリーナ）で『第2回スポーツフェスティバル』を行いました。特に、今回のスポーツフェスティバルは、橘中学校としての最後の行事となりました。また、4月に開館したおおむたアリーナを学校行事で使用することも初めてでした。当日に向けて、実行委員会の子どもたちを中心に、学級での話し合いを進めてきました。短い期間でグループ決め、選手決めなどを行い、競技種目ごとに競技内容の確認を行い、当日を迎えました。9つの競技種目を行い、子どもたちが3つの種目に参加しました。開会式の後、1年生の学年リレーから競技が始まりました。学年ごとに行い、1周およそ100mをクラス全員でバトンをつないでいきました。1本のバトンを次から次につなぎ、子どもたちの応援している声がアリーナ中に響き渡りました。次に、2年生の綱引き、1年生の大縄跳びを行いました。その際、シートを敷き、シート上で競技を行いました。そして、3年生のモップリレーを行い、2人1組でモップを押しながら、次の組につないでいました。その後、ブロック対抗でボール運び、風船運び、玉入れを行いました。子どもたちは、どの競技にも真剣に取り組み、最後まであきらめない姿を見ることができました。閉会式では、結果発表をして、赤ブロックの優勝でした。スポーツでは、勝敗が決まってしまう。しかし、競技に対して、どのように取り組んでいったのかが大切になります。おそらく、子どもたちの表情から一生懸命に取り組んだことが伝わってきました。一人ひとりがスポーツフェスティバルを通して、仲間との関わり、ひたむきに取り組むことの素晴らしさを学ぶことができたと思っています。

みんなが本気で競技に臨めていたと思います。一人一人が全力で楽しみ、全力で応援している姿を見て、実行委員長になって良かったなと思いました。最高のスポーツフェスティバルをみんなで作り上げることができ、とても楽しかったです。

実行委員長

さん（3年）



保護者のみなさまには、おおむたアリーナまで来場していただき、子どもたちへの温かい応援をしていただき、感謝申し上げます。

校歌に思いを込めて～指揮者、ピアノ演奏者決定

令和7年3月24日に橘中学校は閉校します。子どもたちが、橘中学校の校歌を歌う機会は、あとわずかです。そこで、校歌の指揮者とピアノ演奏者の呼びかけをしたところ、5名の子どもが申し出がありました。今後、全校集会や学校行事などで5名の指揮と演奏で、全校生徒による校歌斉唱を行っていきます。早速、スポーツフェスティバルで紹介をして、校歌斉唱をしました。

ところで、橘中学校の校歌は、昭和32年（1957年）2月に発表されました。校歌の制定の経過を「橘中学校創立百周年記念誌（昭和52年10月9日発行）」で確認することができました。記念誌には、「校歌は全国より歌詞を募集することになり、応募数は50数点におよびました。（中略）この審査の結果、島根県の小学校教師、毛利忠義氏のもの当选し、作曲は市川都志春氏に依頼し、昭和32年2月に完成しました。市川都志春氏は東京音楽学校（今の東京芸術大学）を卒業した作曲家で、数多くの校歌をつくっています。」と記載されています。今から67年前に、橘中学校の校歌が全国に公募して制定されたことを初めて知ったと同時に、とても驚きました。また、このような経過を経て作られた校歌を大切にするとともに、思いを込めて歌うようにしたいと考えました。これから子どもたちが校歌を斉唱する時に、今まで以上に大切に歌ってくれることを期待しています。指揮者、ピアノ演奏者を紹介します。



【自己紹介の様子】



【校歌斉唱の様子】

指揮者		
さん（3年） みんなが歌いやすいように全力で頑張ります。今年最後の校歌を最高のものにしましょう！よろしくお願いします。	さん（2年） 橘中学校で最後の校歌を歌う機会なので、全力で指揮をさせていただこうと思いますので、どうぞよろしくお願いします。	
ピアノ演奏者		
さん（3年） なかなかない機会なので、みんなが歌いやすいようにピアノを弾けるように頑張ります。	さん（3年） みんなが歌いやすいようにピアノの演奏を頑張りますので、よろしくお願いします。	さん（1年） 橘中学校という名前は、今年で最後なので、みんなが歌いやすいように一生懸命弾きたいと思います。